

士別市まちづくり総合計画策定に伴う中高生アンケート調査

集計結果（中学生分）

【概要版】

1. 調査の概要

◆目的

これからの本市を担う青少年を対象としたアンケート調査を行うことにより、まちづくりで重視すべきことや青少年の意識を把握します。

また、平成18年度に実施した中学生・高校生アンケート調査結果と比較することで、この間の満足度や意識の変化等も把握します。

◆調査方法

市内の中学校に通う生徒を対象とし、各学校で配付、回収を行いました。

(1) 調査対象者：市内の中学校に通う生徒（1年生及び2年生）⇒327名

(2) 調査時期

配付：平成29年3月10日

回収：平成29年3月17日

(3) 回収率

回収数：306件

回収率：93.6%

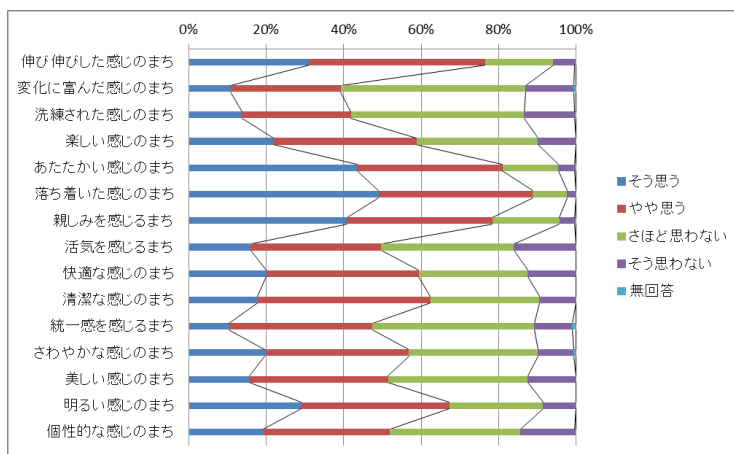
2. 集計結果

◆まちのイメージ

【問】あなたは、士別市にどのようなイメージを感じていますか。

肯定的な意見が多かった項目は、「伸び伸びした感じのまち」、「落ち着いた感じのまち」、「あたたかい感じのまち」、「楽しい感じのまち」、「あたたかい感じのまち」、「伸び伸びした感じのまち」であり、今年18歳以上の市民を対象として実施した市民アンケート調査の結果と同様の結果となった。

また、否定的な意見が多かった項目は、「変化に富んだまち」、「洗練されたまち」、「統一感を感じるまち」、「さわやかな感じのまち」、「美しい感じのまち」、「明るい感じのまち」、「個性的な感じのまち」であり、この結果も、ほぼ市民アンケート調査と同様の結果となっている。



項目ごとに前回調査と比較すると、「個性的な感じのまち」を除いて肯定的な意見の割合が上昇しており、特に「落ち着いた感じのまち」の肯定的な意見の割合が前回調査から18.5ポイント上昇している。

◆まちの資源

【問】現在の士別市のどのようなところが自慢だと思いますか。

肯定的な意見の割合が多かった項目については、大きく2つに分類できる。

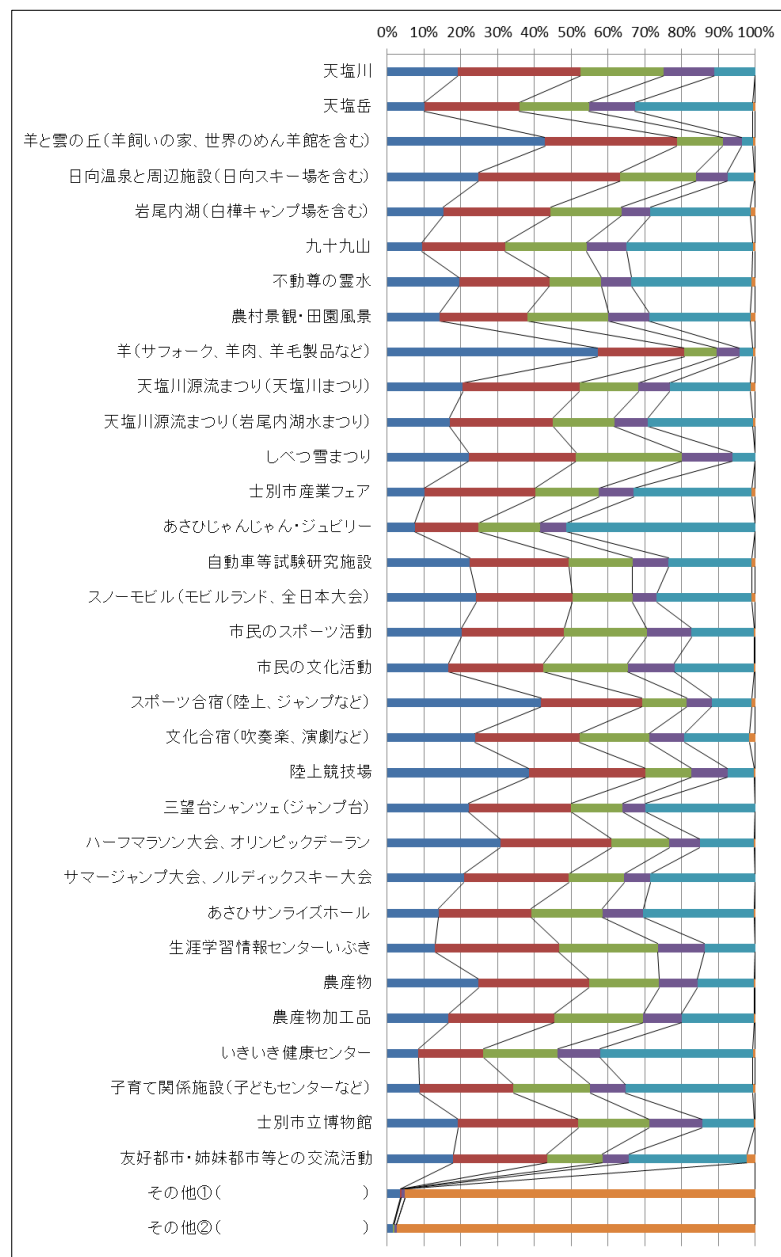
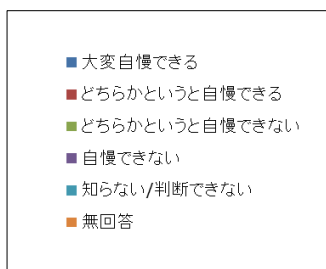
- ①羊 関係…「羊と雲の丘（羊飼いの家、世界のめん羊館を含む）」、「羊（サフォーク、羊肉、羊毛製品など）」
- ②スポーツ…「スポーツ合宿（陸上、ジャンプなど）」、「陸上競技場」、「ハーフマラソン大会、オリンピックデーラン」

本市の総合計画で、【まちの個性】に掲げている「サフォークランド士別」、「合宿の里・士別」の2点について、中学生の視点からも自慢できるという結果が得られた。反面、残りの【まちの個性】である「自動車等試験研究のまち・士別」「生涯学習のまち・士別」、「水とみどりの里・士別」については前回調査と比較しても横ばいや肯定的意見の割合減少という結果であった。

否定的な意見の割合が多かった項目は、「あさひじゃんじゃん・ジュビリー」や「いきいき健康センター」、「九十九山」、「子育て関係施設（子どもセンターなど）」である。

また、今回のアンケート調査では、32項目中9項目で〈知らない/判断できない〉の割合が上昇しており、まちの資源のPRが不足していることが伺える。

「その他」の記述で、出された意見の一部に「天サイダー」や「えび牧場」といった比較的新しいまちの資源の記載が目立った。



◆日常生活における満足度

【問】現在の日常生活の中でどの程度満足していますか。

4分類、26問の調査であり、〈とても良い〉から〈とても悪い〉、〈わからない〉などの項目から選択していただいた。

分類は「住環境」や「学校や学習」、「余暇」、「日常全般」であるが、肯定的な意見の割合が多かった順としては「学校や学習」、「日常全般」「余暇」、「住環境」であった。

「住環境」については、住んでいる家の周囲の快適性や安全性、衛生面で肯定的な意見の割合が高いが、冬期間の除雪や外出のしやすさなどでは半数近くが否定的な意見となった。

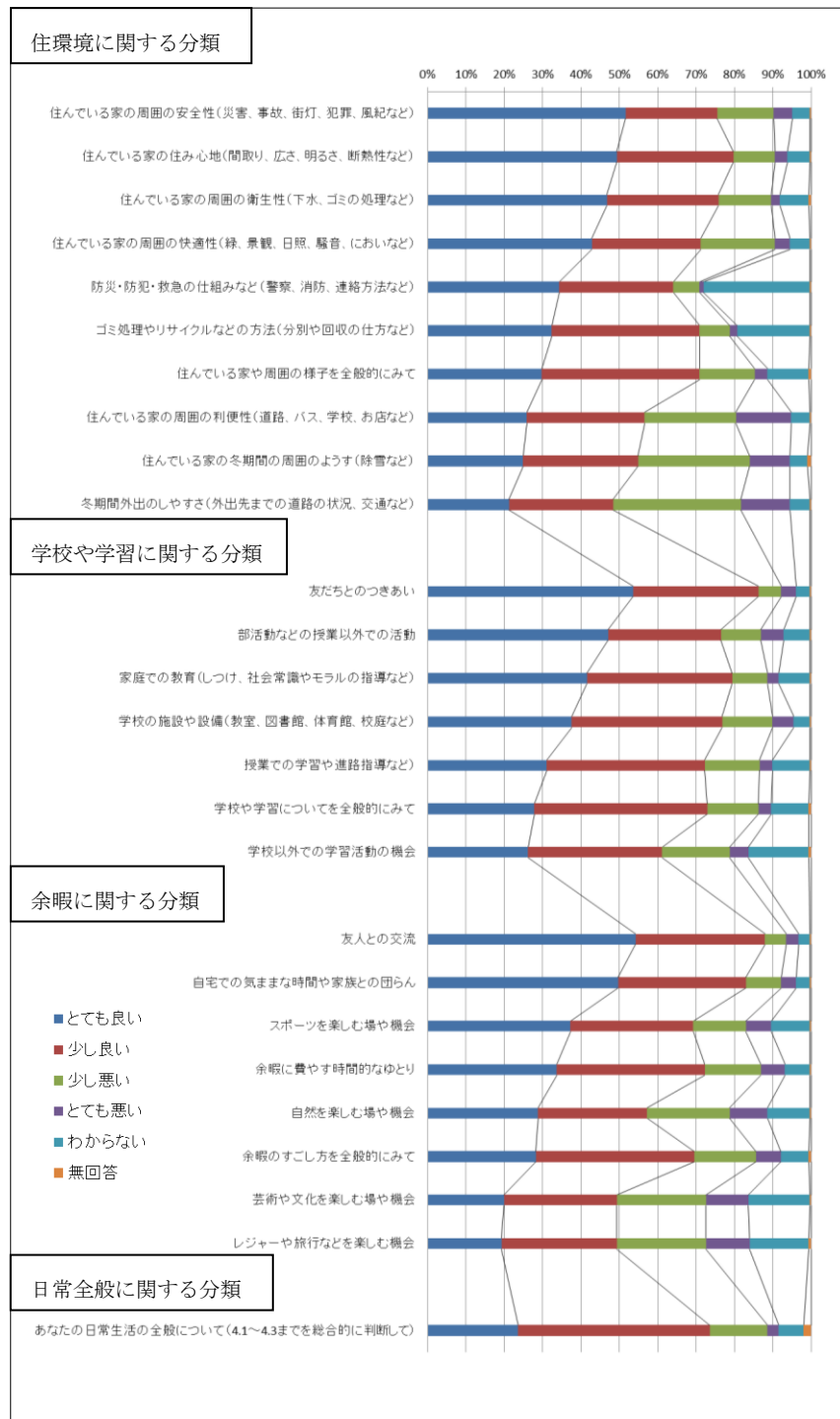
また、ごみ処理やリサイクルなどの方法、防災・防犯・救急の仕組みについては、〈わからない〉という回答の割合が高かった。

「学校や学習」については、すべての設問で肯定的な意見の割合が高くなっている。

「余暇」については、設問によって肯定的な意見の割合の差がはっきりと出ている。

肯定的な意見の割合が低い設問は、芸術や文化、レジャーや旅行などを楽しむ機会となっている。

「日常全般」については 73.5%が肯定的な意見である。

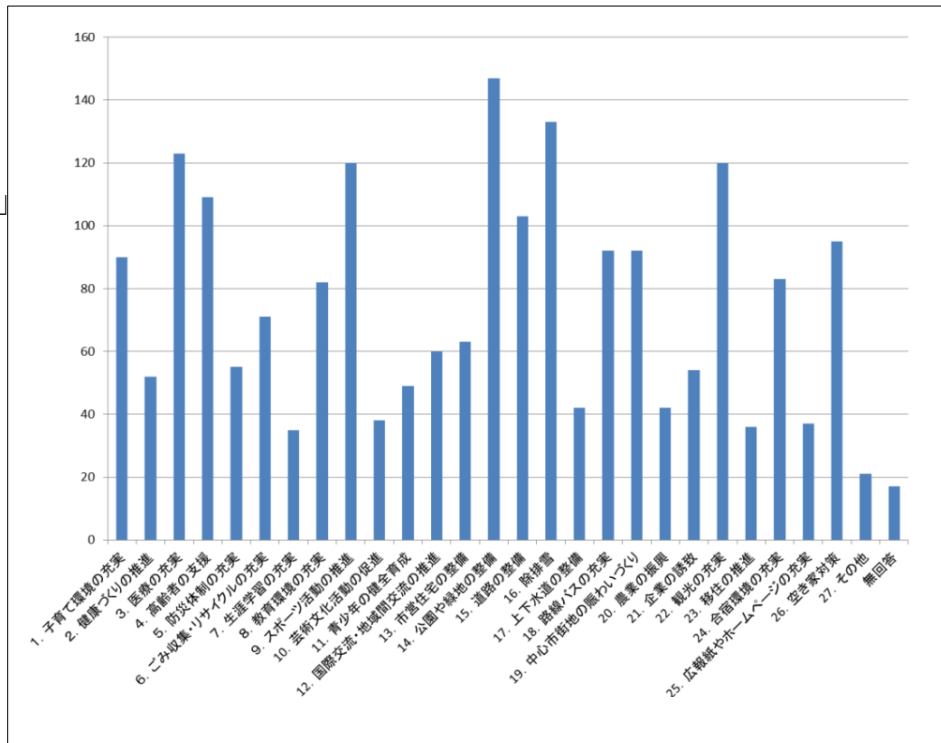


◆活気あるまちづくりに必要なこと

【問】土別市を活気あるまちにしていくなために必要だと思うことは何ですか。(複数選択可)

- 回答数が多い項目：公園や緑地の整備、除排雪、医療の充実、スポーツ活動の推進、観光の充実
- 回答数が少ない項目：生涯学習の充実、移住の推進、広報紙やホームページの充実、芸術文化活動の促進、上下水道の整備、農業の振興

市民アンケート調査の結果と比較すると、「除排雪」と「医療の充実」の2項目が共通して「活気あるまちづくりに必要なこと」として回答数が多い。また、「生涯学習の充実」や「広報紙やホームページの充実」、「上下水道の整備」の3つの項目で中学生による「活気あるまちづくりに必要なこと」としての回答数が少ない。

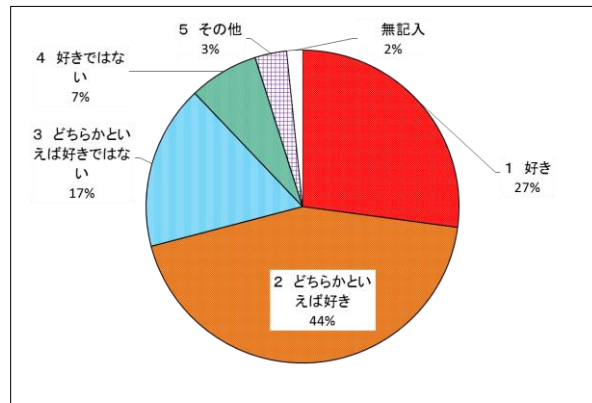


◆愛着度

【問】あなたは士別市が好きですか。

肯定的な意見（好き、どちらかといえば好き）が、全体の7割以上を占めている。

前回調査と比較すると、肯定的な意見の差は1%で大差がない。しかし、「好きではない」と回答した割合は、前回調査の11%から4ポイント減少している。



◆定住意識

【問】あなたは、将来も士別市に住み続けたいと思っていますか。

定住について、「士別市に住み続けたい」、「進学などで一時的に士別市を離れても、また戻ってきて住みたい」という定住の意思を示した意見は約27%で、「住み続けたいが、事情があって移らざるを得ない」、「士別市以外のところに住みたい」という士別市以外での居住を希望する意見は50%となっている。

前回調査と比較して、定住の意思で2%の減少、士別市以外での居住希望は10%の上昇となった。

愛着度では約70%が肯定的な意見（好きもしくはどちらかといえば好き）だが、定住については「わからない」や無回答などを含め、7割以上が定住の意思がない結果となっている。

